



1967 3月号 No. 142

発行所 日向市役所
編集人 総務課 文書広報係

新工場建設のため

用地造成は急ピッチ

いま、細島工業港では、港内の水深を深くしながら、工場用地の埋め立てが急ピッチで行なわれています。

この工事は、港内の航路をいど停泊地の水深を九呎から十呎に深めながら、ここで掘り起こした土砂を、鉄興社の東側海面に流し込み、新しく約十平方呎の埋め立てを行なっているものです。

この工事は、本年四月末日を目標に、工費は航路、停泊地のしゅんせつ分が約九千四百五十万円、埋め立て地の仮護岸工事が約三千七十万円になっています。

なお、埋め立て工事は、県が単独事業で行なっているものです。

日向製錬所が新工場を建設

この埋め立て地には、すでに日向製錬所の新工場建設が決まり、さる二月二十三日県庁知事室で、工場用地の売買契約が黒木博知事と日向製錬所佐藤敏社長の間で行なわれました。

県が譲渡する用地は約十平方呎、売買価格は約一億五千五百三十万円、日向製錬所はこの用地代を四十二年三月末日までに、分割で支払うことになっています。

新工場の建設は、総工費十三億円を投入して本年度中に着工し、四十二年三月末日を操業開始の目標に突貫工事で行なう予定です。

この新工場が完成しますと、新鋭設備で月産三百三十トンのニッケル合金鉄を生産し、現在の二百十トンから大幅にふえる計画です。

なお、現工場は一部の設備を移転して閉鎖になります。



写真は……急ピッチで埋めたてられる工場用地

○……としておくと便利です……○

美々津大橋完成

耳川をまたぐ「美々津大橋」の完成祝賀式が10時から現地でなされました。式典には関係者 約 160人が出席し、神田九州地方建設局長と加藤副知事がテープにはさみを入れたあと、美々津別府の荻原俊三郎さん三代夫婦を先頭に、市長や工事関係者、地元民と美々津小、幸臨小の鼓笛隊も参加して渡りぞめを行ない、大橋の両側には約2,000人が集まって開

◇
◇
◇
◇
◇

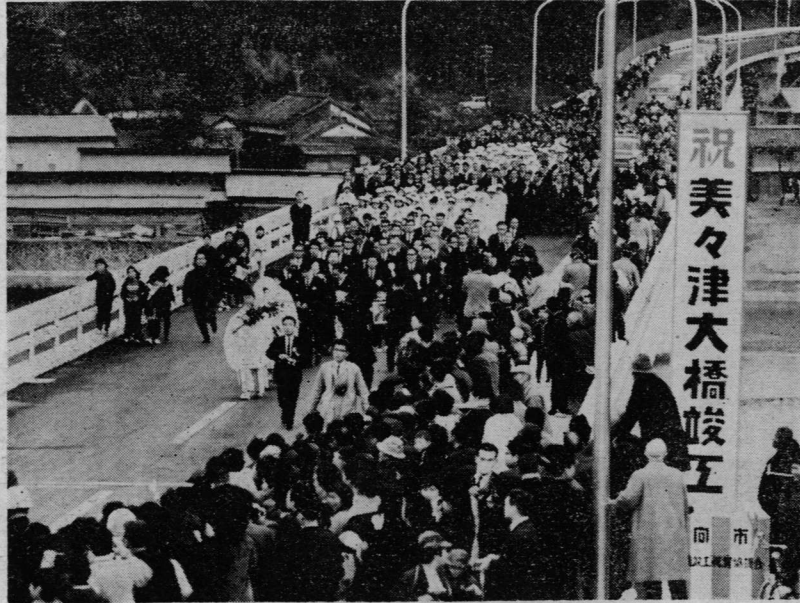
通を祝いました。

この大橋は昨年8月に着工し、車道幅7mと片側に1.5mの歩道がつき、総延長 334 mで、13個の水銀灯も設置されており、総工費は約2億円でした。

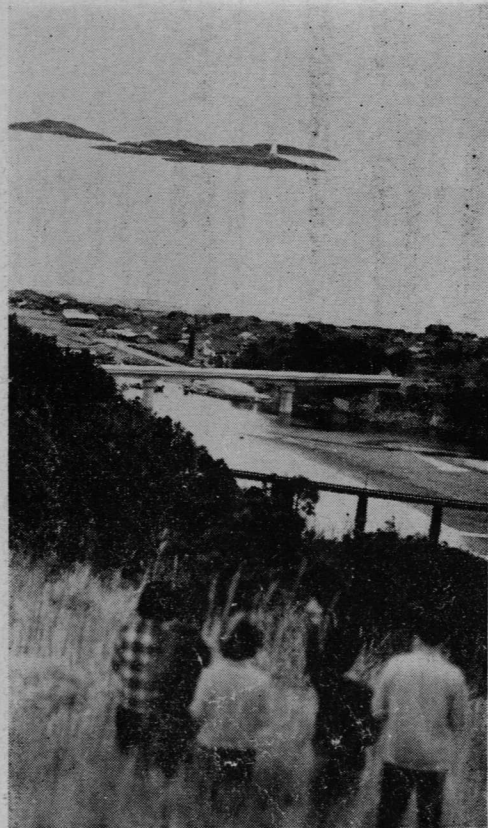
また、この大橋は日豊本線と立体交差しており、10号線を2.1キロ短縮しました。



テープにはさみを入れる加藤副知事



盛大に行なわれた渡りぞめ



大橋の優美な姿が県立公園日向美々津海岸の耳川に景観をそえ、観光面にも大きな役割を果たすことでしょう。(桐の陣より)



大橋南詰めに造られた完成記念碑と神代時代を思わせる姿で除幕した子どもたち



美々津、幸臨間を十二年間渡した船も、この大橋の完成によって多くの人から惜しまれながら姿を消すことになりました

選挙人名簿書面の縦覧期間は
三月十一日から二十日まで

子どもを交通事故から守ろう



入学・入園(所)児に
交通安全のしつけを
こんどご入学・入園されるお子さまのご父兄のみなさんおめでとうございます。
ご入学・入園を前に、お子様はもうそろそろ両親様のおようこびは、さぞ大きいものがあろうかと心からお祝い申し上げます。
入学・入園されますと、毎日、通学・入園することになります。最近のように交通事故が多くなると、無事な子どもの顔を見るまでは本当に心配させられるものがございます。
今までにご家庭においてなさってこられた交通安全のしつけを、あらためて確認するとともに、子ども自身が生活環境の変化に自然に適応して、不安を感じさせないよう入学・入園前のやさしい心

つかいが特に必要であろうかと存じます。
次代を担う子どもを守り育てるのは、社会の責任でありますとともに、ご家庭の楽しいひとときでもあります。
三月一日から四月三十日まで、「子どもを交通事故から守る運動」が県下をあげて進められますが、ご家庭におかれても、お子様の新しい生活に際した交通安全のしつけを身につけさせていたいただきますようお願いいたします。
また、昨年から「家庭の日」が定められています。この日にはご家族みんなで交通安全について話し合われるようお願いいたします。
子どもたちの心身が健やかに伸び育つことを願い、ご一家のご多幸と繁栄を心からお祈りします。
日向市長 児玉製襦



造などの土石製品製造業が十八事業所、家具、装備品製造業が十六事業所の順になっています。
従業者数では、製材業が千百六十七人で全体の三十七パーセントを占め、次が食品製造業の七百八十二人で二十四・九パーセント、続いて土石製品製造業の二百四十八人、順になつていきます。
次に製品出荷額では食品製造業が全体の七十二パーセントで断然群をぬいており、次いで製材業の十六・七パーセント、鉄鋼業の四・七パーセント、化学工業の二・四パーセント……の順になっています。
昭和三十一年までの製品出荷額は、製材業がトップで本市の代表的なものでしたが、その後共和製糖の出荷額がぐんと伸びたため、食品製造業が全体の七割を占める大幅な伸びで本市の代表的なものになりました。
県内における本市の出荷額の割合も、五年前までは四パーセント程度しかなかったものが四十一年では、おそく十一パーセントを越えるものと予想され、県内の順位も、昨年は三番だったものが、本年は福岡市に次いで二番になるものと思われれます。
次回は、工場数、従業者数、出荷額などの過去五年間の伸びをお知らせします。

三月の解説
三月のことを和名で「やよい」といいます。「やよい」は「いやよい」(弥生)から転化したことばで、三月(旧暦)になるとすべての草木が春の陽気にめぐまれてどんぐん育つという意味があります。そんなことからわたくしたち日本人には、たいへん親しまれている和名のひとつといえます。
しかし、太陽暦の三月はまだまだ寒い日もあり、時には雪などが降ることもあります。でも、もう春です。そろそろと東風が吹きはじめ気分も何となくさうさうしてくるものです。東風のことを「こち」といいますが、例の「こち吹かば、においおこせよ梅の花、あるじなしとて春を忘るな」という歌を思いおこすことでしょうか。梅や桃の花も咲き、まもなく桜の季節を迎えることになります。



伸びた食料品製造業

出荷額は165億9千万円

工業統計調査一部まとまる

昨年十二月三十一日現在で行なわれた工業統計調査の結果が一部まとまりましたので、その概数をお知らせします。
本調査の対象となつたのは、製造を営む二百事業所で、従業員総数は三千四百四十二人、出荷額は百六十五億九千七百九十六万円となっております。
工場規模では、零細企業が依然として大きなウエイトを占め、従業者九人以下のところは、全体の六十四・五パーセントに当たる百二十九事業所となつています。十人以上五十人未満の従業者を有するところは三十パーセントの六十事業所、五十人以上百人未満のところは三・五パーセントの七事業所、百人以上の従業者のいるところ

ろは、わずか四事業所で三パーセントとなつています。
また、これを経営組織別にみますと、個人企業が最も多く、全体の六十八・五パーセントを占め、百三十七事業所で、企業の零細さを物語っています。法人組織の事業所では、株式会社が一番多く、十七パーセントの三十四事業所、有限会社が六・五パーセントの十三事業所……となつています。
次に、産業分類別にその構成をみますと、工場数は食品製造業が最も多く、全体の二十九・五パーセントの五十九工場、次いで製材業の二十七・五パーセントの五十五工場となっており、この二つで、全体の半数以上を占めています。次がブロッコ・セメント瓦製

人口 (3月1日現在)
男 21,617人
(前月より62人の増)
女 23,478人
(前月より63人の増)
計 45,095人
(前月より125人の増)
世帯数 11,157世帯
(41世帯の増)

27日	25日	21日	20日	19日	18日	16日	15日	14日	13日
月	土	火	月	日	土	木	水	火	月
立会演説会（知事）	市内小学校卒業式	市青年の主張発表大会 西日本マラソン大会	市議会本会議 「春分の日」	市議会本会議 「家庭の日」	市内中学校卒業式 傷い軍人会総会	市議会本会議	市長会 二市一郡 県自衛隊協力会事務局	市議会本会議	農業委員会総会

3月のこよみ



ただ今滞納整理中です

未納の市税はすぐ納入を！！

納税については、日ごろからみなさまのご協力をいただき、納期内完納も年々上昇して好成績を収めています。

しかし、中には日常の仕事の繁雑さのために、納期を忘れるとか、督促状等を受け取つてそのままにしておられる方が相当あるようです。

市では、会計年度もあわずか
となりましたので、目下各種税金
の整理を行なっています。

すでに、昨年十一月から、第一次、第二次、第三次と市税完納強調月間を定めて、各滞納者と納税相談を実施してきましたが、中には市行政の計画的な執行のため、また納税の公平を期すために、やむなく強制執行を行なったものも

かなりあります。

今後、三月から五月までには現在差し押え中の財産の引き揚げ、公売と、引き続き滞納処分を

犬は必ずつなぎましょう！

飼犬によるたくさんの被害を無くするために「犬は必ずつなぎましょう」運動を実施しております。

明るい郷土と住みよい社会を築くため次のことを守りましょう。

◎ 犬の放し飼いは多くの人に迷惑をかけますので、必ずクサリでつなぎましょう。

◎ 子犬のときから必ずつなぐ習

強行しなければならぬ現狀です。強制執行にはいりますと、延滞金のほかに滞納処分費等の余分の負担がかさむばかりでなく、お互いに気まずい事になりますので、つとめて避けたいものです。まだ滞納されておられる方は、今一度確かめて早急に納入されますようお願いいたします。

◎ 無責任な犬の飼い方はやめましょう。

◎ 学校や神社などで、ただ餌だけを与えて飼っておりますと、その人だけにはなついても、他

人に危害を与える恐ろしい犬になつたりします。

◎ 犬は責任と愛情をもつて飼いましよう。

- ◎ 捨て犬は絶対にやめ、いらないとなった犬は、保健所へ届けましょう。
- ◎ 犬の門標は人の見易い場所にかけましょう。
- ◎ 犬小屋は、いつも清潔にしましょう。
- ◎ 犬には必ず登録と注射をしましょう。

農地報償金の請求は
三月三十一日までです

まだ農地報償金の請求手続きを
されていない方は、至急農業委員
会事務局まで申し出てください。

日向学生寮の入寮申込みは三月二十日までです

東京都内および近郊の大学に在学する男子学生で、入寮ご希望の方は早めに市教育委員会まで。

話を追って

猛火も 5 分間！

化学消防車の消火実験

消防署が先に購入した化学消防車の消火実験が、さる2月26日臨海工業地帯の第1区埋立地で行なわれました。200平方メートルの池に、5,000リッターの重油を流しこみ、これに点火すると、火面はたちまち200平方メートルに広がり、火柱も20メートルに及び猛火となりましたが化学消防車は約5分間で消しとめ、この威力に参加した約200名の消防団幹部や関係者を驚かせました。



盛大に婦人の生活研究発表大会

市代表に石田マツ子さん

日向市婦人の生活研究発表大会は、さる2月16日、市役所大会議室に関係者約300人が出席して、盛大に行なわれました。

発表されたのは、「蚊とハエのいない生活」と題し、富高の中野ムメさん、「留守家族を守りながら」を細島の近藤キチさん、「我が子の成長を思う」を幸脇の柄本リツ子さん、「私たちの部落のあゆみ」を美々津の石田マツ子さん、「上を向いてはきりがない」を日知屋の柏田ナミエさんの5名でしたが、いずれもすぐれた研究発表でした。このほかすばらしい手芸品や農水産加工品などもたくさん展示されていました。

